

フレッシュマン・オカザキのインド通信**伝統を守る・・・？**

お世話になっております。今月も衝撃的なニュースからお伝え致します…。

前回お伝えした紙幣問題に加え、**タミルナドゥ州**では知事の死去、サイクロン襲来に続いて**最高裁のある判決に対して抗議デモ**が発生しました。1月23日には州都チェンナイの観光地でもあるマリーナビーチに1万5千人ものデモ参加者が集まり、警察隊と衝突。幹線道路を封鎖は封鎖、学校や企業は休業、負傷者も大量に発生し、またしても大混乱となりました。

そのある判決とは…

最高裁の「牛追い祭り禁止」に対するデモだったのです！

「牛追い祭り禁止に対する抗議デモで道路封鎖、負傷者多数」この字面だけでもインドがどれほど我々の常識の範疇外であるかがわかりますね…。

インド製品の生産工場があるタミルナドゥ州はインド南部にあります。欧州やアジア系が血にも歴史にも多少混ざっているインド北部とは違い、**顔も文化もインド気質が濃い地域と言えます**。そんな南インドでは、1月中旬にある「Pongal (ポンガル)」と言う収穫祭の時に行われるのが、**牛追い祭り**

「**Jallikattu(ジャリカトゥ)**」です。なんとその歴史は中国もびっくり、5000年以上続いているそうです！（人によって2500～5000年と大きな振れ幅はありましたが… 笑）

内容としては、角に金貨を付けた牛を走らせ、その走っている間に素手で金貨をつかみ取ったものの勝ち、という単純なゲーム。他にも、最後までしがみついていた人が勝ち、とか微妙な差はありますが、**とにかく憤怒した牛を制御した人の勝ち**、というのが要旨です。

今回の騒動は、**PETAインド**という**動物愛護団体**がこの祭りは動物虐待に当たると訴えた事が発端になっています。それもそのはず、下の写真からもわかるようにこのお祭りは牛を大勢で追い回すだけでなく、**石を投げたり、わざと牛を興奮させるためにお酒を飲ませたり**と確かに目に余る行為があるようで、負傷牛も相当な数が出ています。（人間は負傷のみならず、毎年死者が出ているとか… そもそもそれも問題なのでは… ）



最高裁まですすんだその審理は 2015 年に決着し、結局 PETA の要求を受け入れ、ジャリカトゥを禁止するというものでした。ただ、タミルナドゥの人々はこれを受け入れず、判決が下った後も許可なくジャリカトゥを継続しており、今年のポンガルを契機に正式にジャリカトゥを復活させようと学生を中心とした若い人たちが今回のデモを始めたのです。



↑デモの様子。なぜかむしろ楽しそう…？

しかし、動物愛護の為に禁止を訴えた「PETAインド」には他の
思惑もあるようで…??

巷ではヒンドゥー文化潰しを目論む特定の宗教・政治団体から資金をもらって活動しているという噂が信じられており、動物愛護の精神を無視した団体だと思われている一面もあるようです。恐ろしい…。

もし、そんな事実があるならタミルナドゥの人々怒るのも当然だとは思いますが。
↓の写真をご覧下さい。



お昼ご飯を食べる為に立ち寄ったレストランに貼ってあった張り紙です。

「PETA の行爲を許さない！コカコーラとペプシは置いていません！」

あれ…？どういうことでしょうか…？

PETA は元々アメリカで発足した団体です。それ故にアメリカ製品をボイコットしているようで、国際的なホテルなどを除いて、街のスーパーなどでは現在コカコーラ社、ペプシ

社商品は置いていないようです…。それでは矛先が違ってきているのでは？と思ってしまうが。。

因みに 1 万 5 千人を集めた 1 月 23 日のデモの時には、タミルナドゥ州民から愛されて止まない、**ボリウッド(インド映画の聖地、ハリウッドとかけている)の超スーパースター・ラジリカーン**がデモに参加した日でした。ちょうど私がインドに到着した日だったので渋滞や事件に巻き込まれるのではないかとヒヤヒヤしましたが、工場のマネージャーが迎えに来てくれたので、主要道路を避けて何とか無事ホテルに着くことができました…。

このデモの影響が大きすぎる為に州知事はモディ首相と環境大臣と面会、ジャリカットゥを許可する州法の草案を提出し、**最高裁は禁止の法制定を延期させる**

判断をするようだと現地メティアは伝えています。最高裁の判決がテモで覆って良いものなのか…そうでもないしと収拾がつかなさそうな状態ではありますが…。**以上、とてもインドらしい騒動とその裏事情でした。**

インド新石種新着情報！！



↑「GJB」5尺角の天板。大材はお早めに！

←目合は他の安価黒とあまり遜色ありません。

弊社インド加工・協力工場の**新着情報**です！

在庫量限定 500 才で黒石種をお値打ち価格でご提供させていただきます！

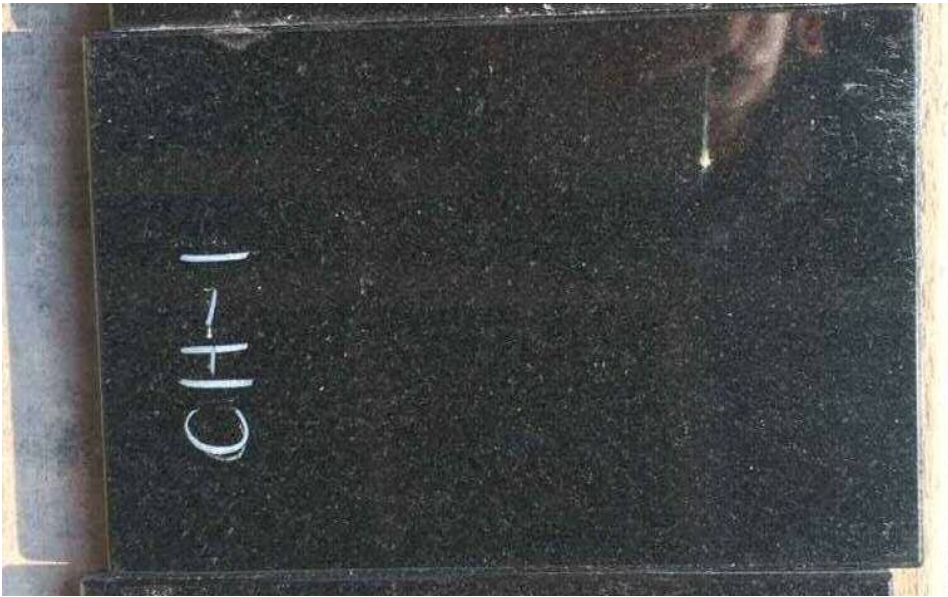
その名も、「**GJB**」正直なところ、最高品質です！とまでは言いません。

高級材に比べるとやや艶のりで劣りますが、**地色は濃く角周りや長尺も**

問題ありません！ (最大角:4.5 尺 x4.5 尺程度、最長尺:7 尺程度)

外柵にとっても向いている石種と言えます。YKDや他の安価黒石種の更に下をいくお値段を出すことが可能なのではないかと思います！

また、**継続性のある安価黒石種をお求めの方はこちら↓**



「CN-1」 以前ご紹介させて頂いた石種ですが、こちらも値段を少し調整しました！

先程の「GJB」よりは少々お値段上がってしまいましたが、**目合いは細かく、艶のい・色も良く、角周り長尺は「GJB」以上です！**(最大角:5 尺 x5 尺程度、最長尺:9 尺程度)

「GJB」は在庫量限定、「CN-1」も期間を区切ってお知らせとなっておりますので、お早めにご連絡頂けると幸いです！

サンプルのご用命、単価は弊社担当営業員まで！

では今月はこの辺で失礼致します。

最後まで読んで下さり、有難う御座いました！また来月まで。

2017/02/01 オカザキ